

厳しい練習乗り越え颯爽と披露！

2018 信州総文祭 第42回全国高等学校総合文化祭

和太鼓部(後期課程) 文化部のインターハイに参加！



8月8日(水)～10日(金)、長野県伊那市にある長野県伊那文化会館で行われた「第42回全国高等学校総合文化祭 2018 信州総文祭～みすずかる信濃に若木は競い森を深める 山脈渡る風に種子を拡げて～」に本校和太鼓部(後期課程)が参加した。

「全国高等学校総合文化祭」とは、全国から各県を代表する文化部系の高校生が集まる、文化部の全国大会である。運動部の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)になぞらえて「文化部のインターハイ」とも呼ばれ、本校和太鼓部が栃木県内高校和太鼓部の県代表として選抜されたことは大変名誉なことである。和太鼓は「郷土芸能」という部門に分類され、本校からは9名の生徒が参加した。

以下に、顧問の和田茂樹教諭のコメントを紹介する。



演奏後、楽しかったと言っていたのが印象的でした。きっと出し切れたのではないかと、思います。

結果は、残念ながら入賞には至りませんでした。しかし、とても良い経験をさせていただきました。

出場できなかった前期課程の和太鼓部員、保護者の皆様、先生方、応援して下さったすべての皆様に感謝申し上げます。

我々がすべきことを、原点に戻って、再スタートを切ります。これからも応援よろしくお願いします。